



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 (株)東京放送ホールディングス
コード番号 9401 URL <http://www.tbsholdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 俊爾
問合せ先責任者 (役職名) 経理局経理部長 (氏名) 津久井 直也

TEL 03-3746-1111

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	261,204	0.1	14,137	17.4	18,806	29.4	11,482	1.0
27年3月期第3四半期	260,821	△1.3	12,043	△4.7	14,530	△0.2	11,371	42.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 13,472百万円 (△78.8%) 27年3月期第3四半期 63,437百万円 (94.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	65.84	—
27年3月期第3四半期	70.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	659,436	466,198	68.5
27年3月期	653,732	456,118	66.7

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 451,846百万円 27年3月期 435,789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
28年3月期	—	9.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	345,000	△0.8	16,000	1.7	20,700	9.4	12,000	△6.3	68.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	190,434,968 株	27年3月期	190,434,968 株
28年3月期3Q	15,986,763 株	27年3月期	28,404,517 株
28年3月期3Q	174,404,079 株	27年3月期3Q	161,886,440 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
株式会社TBSテレビ第3四半期事業収入の内訳	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

日本銀行「金融経済月報」によれば、わが国の景気は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、設備投資の増加や個人消費の底堅い推移などを背景として、基調的には緩やかな回復を続けております。

こうした中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高2,612億4百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は141億3千7百万円（同17.4%増）、経常利益188億6百万円（同29.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は114億8千2百万円（同1.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<放送事業セグメント>

放送事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は1,599億3千5百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益47億8千7百万円（同32.4%増）となりました。

放送事業の主力である株式会社TBSテレビは、当第3四半期連結累計期間のタイム収入が642億2千2百万円（前年同期比0.9%減）、スポット収入が622億5千3百万円（同1.3%減）となりました。タイムセールスでは、「世界陸上2015北京」「世界野球プレミア12」が売上に大きく貢献しましたが、前年の「2014FIFAワールドカップ ブラジル」「アジア大会2014韓国仁川」の反動による減収をカバーするまでには至りませんでした。スポットセールスでは、広告主の関東地区投下量が増加傾向に転じたものの、前年実績には届きませんでした。業種別では、「情報・通信」、「医薬品」、「化粧品・トイレットリー」などが堅調に推移しました。

株式会社BS-TBSは、当第3四半期連結累計期間で売上高118億9千6百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は16億6百万円（同3.0%減）となりました。タイムセールスでは、レギュラーセールスの苦戦が続く一方、スポーツ特番や15周年特番などの単発セールスが好調でした。また、スポットセールスやショッピングは好調を維持しました。営業利益については、コストコントロールに努めたものの、わずかに前年同期に及びませんでした。

株式会社TBSラジオ&コミュニケーションズは、12月のビデオリサーチ首都圏聴取率調査においてもトップを記録し、2001年8月調査以来、14年6ヶ月・87期連続で首都圏ラジオ首位の座を守り続けております。ラジオを取り巻く環境は依然厳しいものがありますが、コストコントロールを徹底するとともに聴取者の期待に応えてまいります。

<映像・文化事業セグメント>

映像・文化事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は895億6千9百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益35億2千2百万円（同31.2%増）となりました。

映画事業では、10月10日公開「図書館戦争-THE LAST MISSION-」（出演：岡田准一・榮倉奈々ほか）が138万人を動員、興行収入18億円の好成績をあげました。催事・興行では、赤坂ACTシアターにて、稲垣吾郎がベートヴェン役に挑んだ「No.9-不滅の旋律-」が好評を博しました。また、バレーボールを題材としたコミック「ハイキュー!!」を舞台化し、千秋楽にはライブビューイングも実施し92会場で2万人が鑑賞して大きな注目を集めました。

メディアビジネス関連では、CS事業は、プロ野球やJリーグのシーズン終了による解約が増える中、人気アーティストのオリジナル番組や80年代アイドル特集を組むなどの施策で底堅く推移しました。海外事業では、「SASUKE」が12月にインドネシア版の放送を開始するなど着実に売上を伸ばし、ドラマ・バラエティなど番組販売も東南アジアやアジア広域チャンネルへのセールスが好調でした。

このほか、スタイリングライフグループは、中核の小売事業「プラザスタイルカンパニー」の化粧品販売が好調に推移し前年同期比で増収となり、化粧品事業も好調に推移しておりますが、グループ内企業の清算により全体では減収となりました。一方、収益率が改善したため、利益面では増益を確保しました。

<不動産事業セグメント>

不動産事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は116億9千8百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益58億2千7百万円（同1.5%増）となりました。

赤坂サカスは、各種の興行や「Sacas広場」で開催される様々なイベントを通じて文化・エンタテインメントの発信地として人気を揺ぎないものとしております。今年も7月から8月に「TBSデリシャカス2015～今年の夏は緑の中でBBQを楽しもう!～」を実施し、11月からは「White Sacas」を開催中で、多くの方々に来場していただいております。今後もTBSグループや番組をより身近に感じていただくための体験イベントの開催などに加えて、赤坂の街と連動した地域密着イベントにも力を注いでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は6,594億3千6百万円で、前連結会計年度末に比べて57億4百万円の増加となりました。現金及び預金、有価証券等の手元資金が74億8千9百万円増加、保有する株式の含み益の増加等により投資有価証券が20億3千7百万円増加した一方、有形固定資産、無形固定資産が減価償却等により54億5千9百万円減少したこと等によります。

(負債)

負債合計は1,932億3千7百万円で、前連結会計年度末に比べ43億7千6百万円の減少となりました。支払手形及び買掛金が7億8千2百万円増加、保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債（長期）が6億1千5百万円増加した一方、未払消費税等が22億2千2百万円減少、未払費用が20億3千万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は4,661億9千8百万円で、前連結会計年度末に比べて100億8千万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が差し引き79億7千3百万円増加、株式交換等により自己株式が160億6千9百万円減少、その他有価証券評価差額金が12億2千5百万円増加した一方、資本剰余金が90億4千8百万円減少、非支配株主持分が59億7千6百万円減少したこと等によります。

この結果、自己資本比率は68.5%、1株当たりの純資産は2,590円15銭となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績見通しにつきましては、主力であるテレビのタイム、スポット収入のほか、映像文化事業、不動産事業の収益につきましても、第2四半期決算発表時の想定通りの水準で推移する見通しです。また、グループをあげてコストコントロールに努めており、通期の売上高、及び営業利益は前回予想と同額を予想しております。経常利益以下につきましては、外部からの受取配当金の増加等もあり、前回予想を上回る見通しです。

こうした状況を勘案し、平成27年11月4日の業績予想を本決算短信におきまして下記の通り修正いたします。

配当予想につきましては、今後の業績の推移等を見極めたうえで改めて検討することとし、現時点におきましては、平成27年5月12日に公表した通りの配当予想とさせていただきます。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
平成27年11月4日発表(A)	345,000	16,000	19,200	10,500	60 20
平成28年2月4日発表(B)	345,000	16,000	20,700	12,000	68 80
増減額(B-A)	—	—	1,500	1,500	—
増減率	—	—	7.8%	14.3%	—
前期実績	347,817	15,728	18,915	12,811	79 12

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、連結子会社マキシム・ド・パリ(株)は、平成27年11月10日付で清算終了したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,773	21,263
受取手形及び売掛金	38,309	39,568
有価証券	1,206	43,206
商品及び製品	7,353	8,297
番組及び仕掛品	7,759	7,290
原材料及び貯蔵品	589	530
前払費用	11,124	11,017
繰延税金資産	3,381	2,617
その他	5,733	7,297
貸倒引当金	△104	△94
流動資産合計	131,127	140,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	196,995	199,512
減価償却累計額	△95,923	△101,448
建物及び構築物 (純額)	101,072	98,063
機械装置及び運搬具	89,121	88,192
減価償却累計額	△79,988	△78,662
機械装置及び運搬具 (純額)	9,133	9,529
工具、器具及び備品	27,858	29,778
減価償却累計額	△25,333	△26,979
工具、器具及び備品 (純額)	2,524	2,798
土地	84,010	84,010
リース資産	6,850	3,685
減価償却累計額	△4,392	△1,704
リース資産 (純額)	2,458	1,981
建設仮勘定	3,904	2,531
有形固定資産合計	203,104	198,915
無形固定資産		
ソフトウェア	3,755	3,271
のれん	21,699	20,841
リース資産	180	118
その他	1,598	1,732
無形固定資産合計	27,234	25,963
投資その他の資産		
投資有価証券	276,383	278,421
長期貸付金	292	269
繰延税金資産	1,995	1,113
長期前払費用	446	419
その他	13,484	13,627
貸倒引当金	△337	△289
投資その他の資産合計	292,265	293,561
固定資産合計	522,604	518,441
資産合計	653,732	659,436

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,716	33,499
短期借入金	200	-
1年内返済予定の長期借入金	1,200	1,200
1年内償還予定の社債	-	30,000
未払金	9,495	9,156
未払法人税等	3,752	2,738
未払消費税等	3,688	1,466
未払費用	5,481	3,451
役員賞与引当金	107	68
その他の引当金	1,634	809
その他	4,796	6,091
流動負債合計	63,072	88,480
固定負債		
社債	30,000	-
長期借入金	23,600	23,000
環境対策引当金	120	119
退職給付に係る負債	14,942	15,161
リース債務	893	862
繰延税金負債	50,486	51,102
その他	14,498	14,510
固定負債合計	134,541	104,756
負債合計	197,613	193,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	59,523	50,474
利益剰余金	244,714	252,687
自己株式	△36,749	△20,680
株主資本合計	322,474	337,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,309	113,534
繰延ヘッジ損益	663	529
為替換算調整勘定	57	59
退職給付に係る調整累計額	285	254
その他の包括利益累計額合計	113,315	114,378
非支配株主持分	20,328	14,352
純資産合計	456,118	466,198
負債純資産合計	653,732	659,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	260,821	261,204
売上原価	181,127	180,707
売上総利益	79,694	80,496
販売費及び一般管理費	67,650	66,359
営業利益	12,043	14,137
営業外収益		
受取利息	37	32
受取配当金	2,797	4,223
持分法による投資利益	857	649
その他	371	626
営業外収益合計	4,065	5,532
営業外費用		
支払利息	714	585
固定資産除却損	180	109
その他	682	168
営業外費用合計	1,578	863
経常利益	14,530	18,806
特別利益		
投資有価証券売却益	2,996	74
特別利益合計	2,996	74
特別損失		
投資有価証券評価損	328	31
減損損失	146	—
投資有価証券売却損	119	—
関係会社株式売却損	62	—
特別損失合計	657	31
税金等調整前四半期純利益	16,870	18,848
法人税、住民税及び事業税	3,187	4,418
法人税等調整額	1,615	1,999
法人税等合計	4,803	6,418
四半期純利益	12,066	12,430
非支配株主に帰属する四半期純利益	695	947
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,371	11,482

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	12,066	12,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,576	1,228
繰延ヘッジ損益	674	△114
為替換算調整勘定	71	2
退職給付に係る調整額	△3	△53
持分法適用会社に対する持分相当額	50	△21
その他の包括利益合計	51,370	1,041
四半期包括利益	63,437	13,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,786	12,545
非支配株主に係る四半期包括利益	650	926

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年4月1日を効力発生日として当社を株式交換完全親会社とし、株式会社BS-TBSを株式交換完全子会社とする株式交換を実施し、当社が保有する自己株式12,314,784株を本株式交換による株式の割当に充当いたしました。当該株式交換を主因として、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が9,048百万円減少、自己株式が16,069百万円減少しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が50,474百万円、自己株式が20,680百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	放送	映像・文化	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	160,495	88,820	11,506	260,821	—	260,821
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,071	2,388	4,261	7,722	△7,722	—
計	161,567	91,209	15,768	268,544	△7,722	260,821
セグメント利益	3,616	2,685	5,741	12,042	0	12,043

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額 (注2)
	放送	映像・文化	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	159,935	89,569	11,698	261,204	—	261,204
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,274	2,313	4,145	7,733	△7,733	—
計	161,210	91,882	15,844	268,937	△7,733	261,204
セグメント利益	4,787	3,522	5,827	14,137	△0	14,137

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

株式会社TBSテレビ第3四半期事業収入の内訳

(単位：百万円)

	前第3四半期 (26.4.1~26.12.31)	当第3四半期 (27.4.1~27.12.31)	増減		前事業年度 (26.4.1~27.3.31)
	金額	金額	金額	増減率	金額
テレビ	136,674	135,819	△855	△0.6%	180,951
タイム・番組制作	64,821	64,222	△599	△0.9%	85,189
スポット	63,100	62,253	△847	△1.3%	83,849
その他	8,751	9,343	591	6.8%	11,912
事業	18,697	19,720	1,022	5.5%	25,413
不動産	2,231	2,234	2	0.1%	2,970
合計	157,604	157,774	170	0.1%	209,335